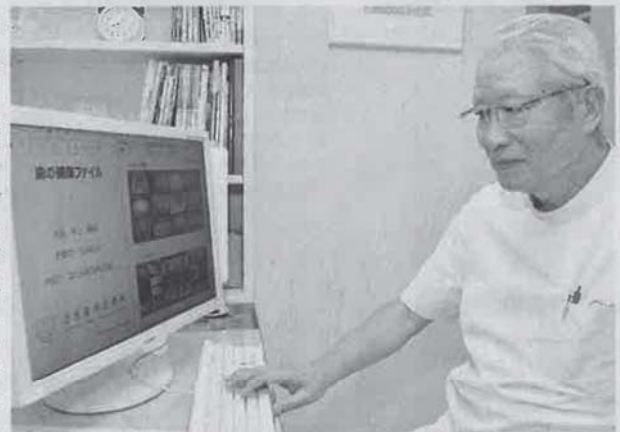


口内の健康 自ら管理

酒田の歯科診療所と富士通が開発

クラウドでカルテ閲覧

酒田市の日吉歯科診療所と富士通（東京都）が、カルテのデータを外部のサーバーに保存する「クラウド」を利用し、患者がいつでもどこでも情報を閲覧できるサービスを共同開発した。全国約40の歯科医院で4月に提供が始まる。引越しや出張先でも、これまでの診察を踏まえた適切な治療を受けられるほか、自らの歯の状態を把握することで口内トラブルを予防し、健康長寿社会の実現につながる狙いがある。同社によると、こうしたサービスは全国初という。



クラウドの画面で患者の歯の様子を確認する熊谷院長（酒田市日吉町の日吉歯科診療所で）

長寿につながる」と期待されるといふ。

さらに、富士通のヘルスケアシステム事業本部未来医療ビジネスセンターの武久文之マネジャーは「子供の食育や教育につながるような内容を追加したり、アスリート向けに歯の状態が競技結果にどう影響するかという情報を還元したりするサービスなど、様々な広がりも期待できる」と話す。

システムには、セキュリティの高いVPN（仮想私設網）通信を採用。サーバーは耐震性が高く、津波被害の心配がない場所にあるため、災害に強いうえ、大規模災害時にはデータを歯型照合による身元確認にも利用できるという。

予防歯科が専門の鶴見大

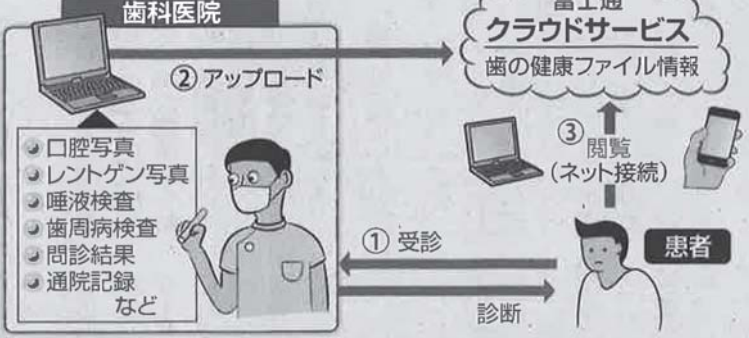
歯学部探索歯学講座の花田信弘教授（口腔衛生学）は「歯の様子を0歳のときから記録したものを維持・管理し、健康を保つことはクラウドシステムを用いることで初めて可能になる。蓄積したビッグデータを解析することで、予防歯科全体の向上にも寄与できるのではないかと指摘する。

パソコンのほか、スマートフォンでも閲覧が可能。熊谷院長は「富士通と協力してシステムを改良するとともに、歯科医院との連携を進め、より良いサービスにつなげたい」としている。

人生を終えられますよ」

予防歯科が専門の鶴見大

◆「歯の健康ファイル」サービスの流れ



サービスは「歯の健康ファイル」。保管されるデータは、患者の歯を決められた複数の角度から撮影した写真や、歯周病にかかるリスクを数値化したもの、過去の問診結果など多岐にわたる。

サービスを導入した歯科医院の患者が、専用のインターネットサイトに、登録したメールアドレスとパスワードを入力することでいつでもどこでも情報を閲覧できる。

「自らの口の中の状態を細かく理解すれば、年をとっても歯を失うことはない」と、『ランダムコロン』で

このサービスによって、患者が自らの歯や口内の状態を把握し、適切にケアする

予防歯科が専門の鶴見大